

JA 鳥取いなば特産品育成プロジェクト～ショウガの生産拡大と特産化～

事業実施主体名	鳥取いなば農協		住 所	鳥取市
プラン認定日	平成22年8月17日	プラン期間	平成22年～平成26年	

1 プラン内容

(1) 概要

鳥取県東部地区では水田による水稻栽培が主であるが、近年の減反や米価の低下により、転作作物への取り組みが進められている。また、鳥取市気高町では小規模ながら歴史あるショウガの産地があり、そのショウガは高い評価を受けている。

ショウガは水田転作作物として取り組みやすく、昨今の生姜ブームにより注目されている作物でもある。このため、東部地域でショウガを新たな特産とする取り組みが始まり、その取り組みの中で、ショウガ栽培の生産指導、販売PRの強化、周年出荷対策、種ショウガ保管対策を行う。

(2) 取り組みポイント

- ショウガの通年販売及び種ショウガ保管のための保管庫を整備
- 新規生産者へ栽培指導
- ショウガやその加工品のPR

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H22	保冷施設整備（施設改築、冷房機器取付工事）	2,130	710	355
H23	保冷施設整備（床断熱工事、攪拌設備設置工事、炭酸ガス排換気工事）	2,190	730	365
合 計		4,320	1,440	720

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力（雇用）	部員数 16人	部員数 20人
経営内容・規模	作付面積 41a 生産量 7.8トン	作付面積 77.5a 生産量 12.1トン

(2) 成果

【プラン目標に対する実績】

	平成22年	平成23年	
		目標	実績
生産者数(戸)	16	20	20
作付面積(a)	41	77.5	77.5
生産量(t)	7.8	18.1	12.1
出荷量(t)	3.5	12.2	5.1
貯蔵量(t)	3.8	14	6.3



現地巡回指導会



量販店での販売状況



ショウガを使ったスイーツ



出荷用ダンボールの統一



商品PRシール



【取り組みの状況等】

- ・生産部を設立し定期的な現地巡回指導会で栽培技術の普及に努めた。
- ・取り組み2年目であるが、生産者、作付面積、生産量、出荷量とも増加している。
- ・「いなば里山生姜」のブランドとして県内外の5市場に共同販売を行っている。
- ・貯蔵施設を整備することで、適期収穫、適正な温度管理での長期保存を実現できた。
- ・有機JASショウガや、ショウガの乾燥パウダー加工に取り組み始めた生産者もあり、付加価値を付け有利販売を目指す動きもある。
- ・鳥取市内の製造業者へ販売し、ショウガスイーツも発売されるなど農商連携も行っている。
- ・鳥取いなば生姜研究会の一員として各種のイベントに参加するなど、地元の新たな特産としてのPRを行っているところ。
- ・今後は収量、品質の平準化、年間販売供給体制の確立、品質の向上、直接販売ルートの拡大等に向けて努力していきたい。

[東部総合事務所農林局]